

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	耳下側へのプリザーフロマイクロシャントを用いた濾過手術の成績の検討
当院の研究責任者(所属)	植田 芳樹 (真生会富山病院アイセンター)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	緑内障は、点眼では眼圧のコントロール不能な場合、手術が考慮されます。近年、プリザーフロマイクロシャントという、濾過手術で用いる道具が認可されました。従来の線維柱帯切除術と比較して、眼圧下降率はやや劣りますが手術時間は短く、侵襲も少ないと言われています。これまでの濾過手術は、原則として上方結膜からの手術です。ただし、上方からの手術は2回しかチャンスがないこと、何らかの事情で上方結膜が使用できない方もあります。マイクロシャントを用いた濾過手術は、線維柱帯切除術と比べ手技が容易であり、結膜も傷めないで、濾過胞感染のリスクも高くなく、下方結膜からの手術が可能であると考えられます。当院で下方結膜からマイクロシャントを行った成績をまとめて報告します。
調査データの該当期間	研究実施期間:承認日から2025年12月31日 調査データの該当期間:2023年8月1日から2025年7月31日
研究の方法(対象となる方)	2023年10月から2024年4月までに、当院でプリザーフロマイクロシャントを用いて濾過手術を行った症例について、後ろ向きに検討します。
研究の方法(使用する情報)	全症例の患者背景として、緑内障の病型、年齢、性別、緑内障手術を含めた眼科手術の既往を調べ、術前、術後1週、1か月、2か月、3か月、最終時の視力、眼圧、点眼数、合併症の有無、追加処置や追加手術の有無を調べ、比較検討します。
試料／情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話:0766-52-6979 担当者: 植田 芳樹 (医師)
備考	